



ふぉーゆうだより

第23号

令和2(2020)年6月発行

日頃から大変お世話になっております。
昨年度の“ふぉーゆう”の事業の実施結果などについてお知らせします。

● 栃木県発達障害者相談支援サポーターについて

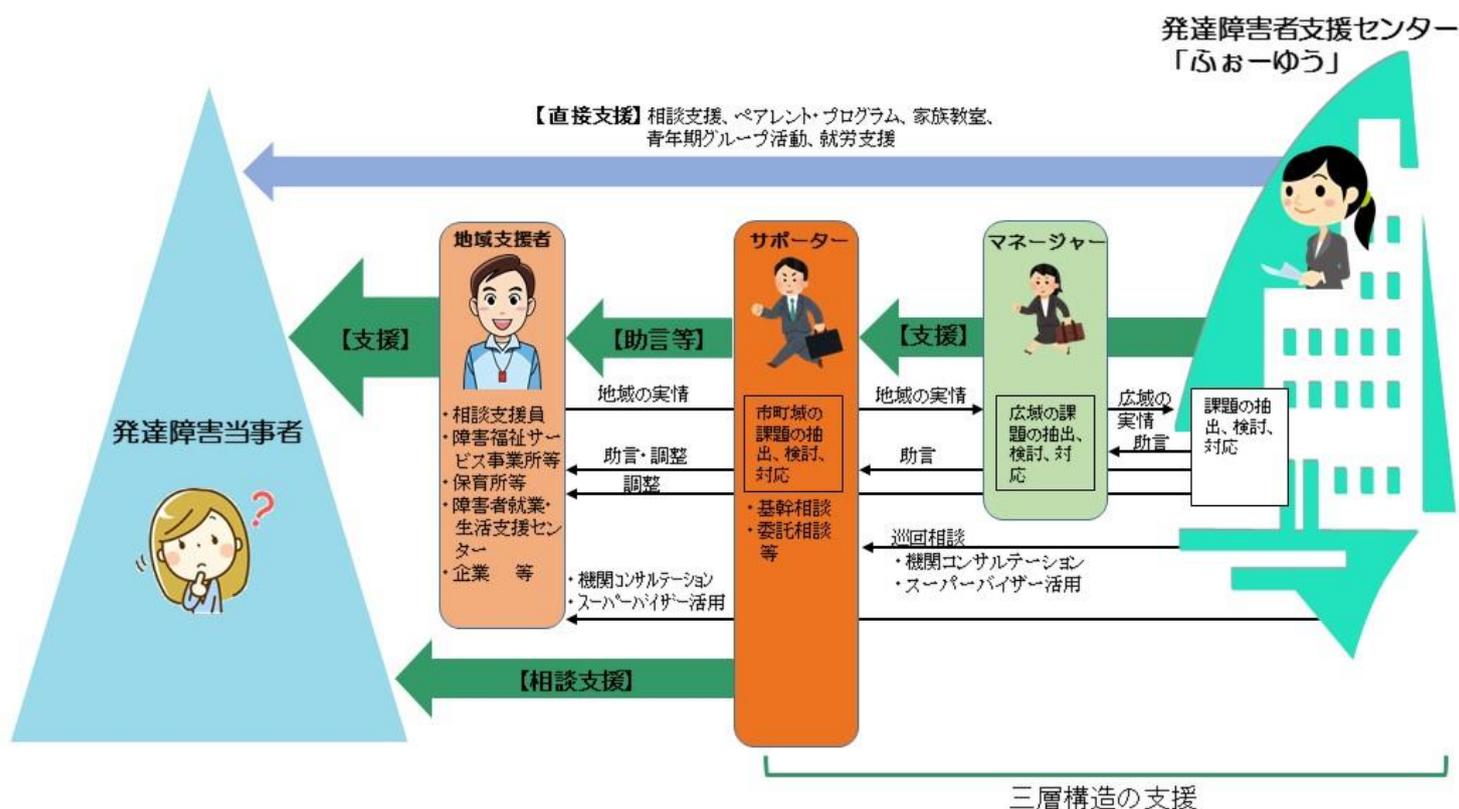
ふぉーゆうでは、地域における支援体制の強化を図るため、市町域において青年期以降を中心とした発達障害者やその家族等からの第一義的な相談支援に携わる「栃木県発達障害者相談支援サポーター」の養成を、令和元年度から開始しました。

サポーターとなるのは、各市町長から推薦を受けた相談支援専門員で、ふぉーゆうが実施する全7回の養成研修プログラムを修了した方になります。令和元年度は24名のサポーターが誕生し、県内各地で支援活動にあたっています。

これにより、本県の発達障害者支援については、ふぉーゆう、発達障害者地域支援マネージャー、サポーターの三層構造による支援体制で取り組んで参りますので、引き続き皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

(サポーターが所属する事業所等の情報については、ふぉーゆうのホームページに掲載していますので、ぜひ御覧ください)

栃木県における発達障害者支援体制について



● 発達障害セミナー

11月24日に川崎市発達相談センター所長で発達障害者支援センター全国連絡協議会副会長の阿佐野智昭氏をお招きし、「思春期・青年期の発達障害と二次障害の予防と対応」をテーマに講話いただきました。発達障害の方のもの見え方・困難さの疑似体験を行い、発達障害の基本的な特性について具体的なエピソードを交えてわかりやすくお話しいただいたほか、二次障害やひきこもり、家族機能についても、幅広くお話しいただきました。「発達障害が疑似体験したような世界のイメージだとすると、現在の社会は生きづらいと思った」「特性に対する支援だけでなく、自己肯定感を下げない配慮が大切だと思った」などの感想をいただきました。286名の参加者のうち半数以上が初めて参加された方であり、今後もこのようなセミナーを通してより多くの方が発達障害について関心を持ち、理解を深めていただけるよう、啓発に努めて参ります。

● 発達障害処遇支援研修会

11月12日に放課後等デイサービス等の障害児通所支援事業所や市町障害福祉担当課の職員を対象に開催し、71名に参加いただきました。はじめに那須塩原市子ども・子育て総合センターの職員から、「市町における横断的で切れ目のない支援体制の構築」をテーマに、「那須塩原市発達支援システム」(インターネットのクラウドシステムを活用した多機関による情報共有)の運用状況や課題等について講話いただきました。次にNPO法人障害児・者トータルサポートセンター空(那須塩原市)理事長の大武仁彦氏から、「放課後等デイサービス事業所における支援と家庭や教育との連携」をテーマに、厚生労働省の「放課後等デイサービスガイドライン」の要点や、家庭や教育との連携の実践について、事例を交えて講話いただきました。多機関連携による横断的で切れ目のないきめ細かな支援のためには、情報を共有するだけでなく、その情報を活用し、支援に携わる者と当事者と家族の三者が共に同じ方向を向いて進めるようになることが重要であると改めて認識することができました。

● かかりつけ医等発達障害対応力向上研修

発達障害の早期発見・早期支援のため、7月7日にかかりつけ医等の医療従事者を対象に、国際医療福祉大学病院教授で小児科部長の門田行史氏に「発達障害の診療と対応～かかりつけ医に期待する家族支援と地域連携～」をテーマに講話いただきました。65名の医療関係者(小児科医・精神科医・看護師・精神保健福祉士・心理士・保健師等)に参加いただき、「一人一人の特性に合った指導・助言が大切だとわかった」「本人への助言・アドバイスの幅が広がった」「家族への説明や話をする時に活かせる」などの感想をいただきました。地域医療において、発達障害の特性を踏まえた適切な医療の提供が広がるよう、研修を実施して参ります。

当事者・家族支援事業

● 青年期グループ活動

社会性の向上と精神の安定を図ることを目的として、年5回のグループ活動を開催しました。室内レクリエーション、ボランティアグループを招いての手品鑑賞、軽スポーツ、パン作り体験等を行いました。参加メンバーは6名で、20代男性の割合が高い状況でした。

当事者グループ活動の地域での実践を御検討の関係機関等がありましたら、ふぉーゆうで培ったノウハウを活かして支援いたしますので、お気軽にお声掛けください。

● 就労準備支援事業(就労ガイダンス)

発達障害のある方が就労の意識を高めることを目的として、12月5日に栃木障害者職業センターの小山内菜穂氏とハローワーク宇都宮(専門援助部門)発達障害者雇用トータルサポーターの村上貴子氏を講師にお招きし、「発達障害のある方への就労支援」をテーマに各機関における就労支援の実際についてお話しいただきました。就労を目指す当事者とその家族11組16名が参加しましたが、「手厚い支援があることを知った」「将来の見通しを持つことができた」「発達障害と診断され不安があったが、とても参考になった」などの感想をいただきました。各機関でどのような相談ができるか、また、職業準備性の大切さを知ることによって家庭においても就労に向けた準備ができることを学ぶ良い機会になったと考えております。

● ペアレント・プログラム

ペアレント・プログラム(以下「ペアプロ」という。)は、子どもの「行動」の客観的な理解の仕方を学び、楽しく子育てに臨む自信をつけることを目的とし、地域での普及を図るために開発されたプログラムです。栃木県では身近な地域での家族支援の充実を図るため、平成29年度からペアプロを導入し、市町への普及に取り組んでいます。

8月に市町の保育士、保健師等を対象に事前研修(概要説明、那須町・足利市の実践報告)を行い、25名の支援者に参加いただきました。

10~12月にかけては研修型ペアプロを実施し、保護者10名と支援者11名に参加いただきました。保護者からは「自分のいいところを見つけることで、自分に優しくなり、認められるようになり、子どものいいところやできているところに目を向けられるようになった」「困ったところばかり気になってイライラしていたが、今は少しできたことでもほめてあげると、次の行動も進んでしてくれるときがあり、どんどんほめていこうと思った」「このような取組を必要としている親はたくさんいる。市町でも広く実施してほしい」などの感想がありました。研修型ペアプロでは、地域でプログラムを実施する際のノウハウを習得していただくため、実際のプログラム場面に支援者も参加します。支援者からは「回を重ねるごとに保護者の考え方や子どもへの対応が変わったと感じた」「普及したい内容なので、今後実施したい」などの感想をいただきました。県内では足利市、那須町、壬生町等、地域でもペアプロが開催されています。ふぉーゆうでは、地域の支援者と連携し、保護者が身近な地域でプログラムを受けられるよう、引き続き普及に努めて参ります。

回	内 容
1	現状把握表を書く!
2	行動で書く!
3	同じカテゴリーをみつける!
4	ギリギリセーフ!をみつける!
5	ギリギリセーフ!をきわめる!
6	ペアプロでみつけたことを確認する!

● 家族教室

主に思春期以降に発達障害の診断を受けた方の家族を対象に10月8日に開催し、15名に参加いただきました。柳川小児科医院(佐野市)副院長の柳川悦子氏に「発達障害の特性理解と家族の対応」をテーマにお話しいただいたほか、栃木県自閉症協会の方に当事者・家族の立場からご自身の体験談をお話しいただきました。参加した家族からは「親の理想ばかり押しつけずに、本人の安心・安定が大事だと思った」「本人のいいところ、好きなことをほめたり、やらせたりすることがとても大切なことを教えられた」「自尊感情を持たせるには成功体験が必要であり、そのためには親・家族のサポートが大事であることを学んだ」などの感想をいただき、本人との関わりにおいて大切なことを考える機会となりました。

相談状況(令和元(2019)年度実績)

▽電話相談件数(延べ735件)と来所相談件数(延べ219件)を合わせると、延べ総数954件になります。

▽対象者の性別については、男性(延べ577件)、女性(延べ328件)と、男性に関する相談が約6割を占めています。

▽対象者の年齢区分については、19歳～39歳が約半数を占め、次いで小学生、40歳以上の順になっています(図1)。

▽相談内容(複数選択式)については、「人付き合いが苦手」といった「生活・家庭」に関する相談、「自分は発達障害なのか」「診断できる医療機関を教えてください」といった「診断」、「医療・支援機関」に関する相談、「自分に合う仕事はあるのだろうか」といった「今後の就労」に関する相談の順になっています(図2)。

▽これらの相談内容に応じて、ふぉーゆうスタッフからは発達障害の特性理解のための助言や支援機関・制度に関する情報を提供したほか、保健・福祉・教育・労働等の各分野の関係機関と連携を図りながら支援を行いました。

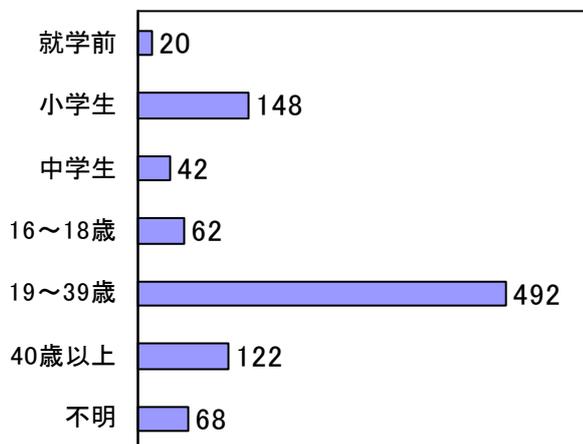


図1 年齢区分別延べ相談件数

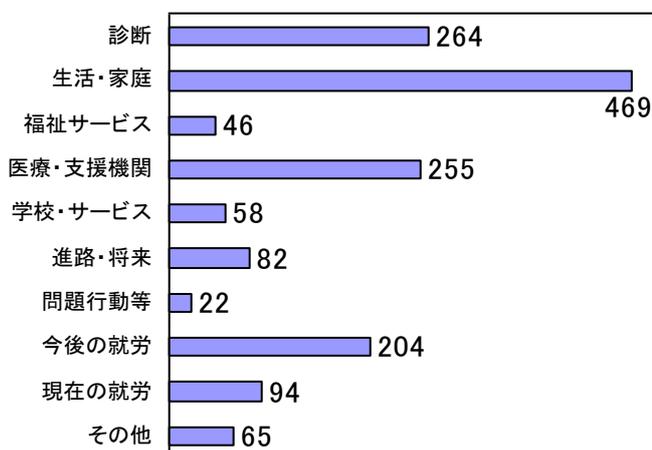


図2 相談内容の内訳(n=954)

TOPICS

ふぉーゆうホームページを大幅リニューアル！！

レイアウトを大幅に刷新し、内容を充実しました。これまで以上に活用しやすいサイトを目指して参りますので、今後ともよろしくお願いたします。

発達障害に対応可能な医療機関について

県障害福祉課による県内医療機関を対象とした調査結果が公表されました。対応可能な医療機関の一覧等の詳細については、ふぉーゆうホームページからも閲覧できますので、ぜひ御活用ください。

栃木県発達障害者支援センターふぉーゆう

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1 (栃木県障害者総合相談所内)

TEL 028-623-6111 FAX 028-623-7255

ホームページ

栃木県発達障害者支援センター

検索